BlackBerry UEM

BlackBerry Dynamics アプリの管理

管理

12.12

目次

BlackBerry Dynamics アプリの管理.....5

BlackBerry Dynamics アプリのネットワーク接続の設定.....6

BlackBerry Dynamics 接続プロファイルの作成.....6
BlackBerry Dynamics 接続プロファイル設定.....6
BlackBerry Dynamics 接続プロファイル設定のエクスポート.....10
BlackBerry Dynamics アプリデータのデフォルトルートの設定.....10
BlackBerry Proxy を通じた BlackBerry Dynamics アプリデータのルーティング.....11
BlackBerry UEM のアップグレード後に、BlackBerry Dynamics 接続プロファイルを作成または編集する際の考慮事項.....12
BlackBerry UEM のアップグレード後の、既存 BlackBerry Dynamics 接続プロファイルの編集.....12
BlackBerry Dynamics 接続プロファイルへのアプリサーバーの追加.....13

ユーザーデバイスでの BlackBerry Dynamics の制御.....14

BlackBerry Dynamics プロファイルの作成.....14
BlackBerry Dynamics プロファイル設定.....14

アプリリストへの BlackBerry Dynamics アプリの追加.....21

アプリリストへの一般の BlackBerry Dynamics アプリの追加.....21
一般の BlackBerry Dynamics アプリの権限の表示.....21
内部 BlackBerry Dynamics アプリの権限の追加.....21
一般の BlackBerry Dynamics アプリを内部アプリとして追加.....22
BlackBerry Dynamics アプリのソースファイルのアップロード.....23

BlackBerry Dynamics アプリの設定の管理.....24

iOS および macOS ：BlackBerry Dynamics アプリの設定.....25
Android ：BlackBerry Dynamics アプリの設定.....26
Windows ：BlackBerry Dynamics アプリの設定.....27
BlackBerry UEM Client アプリの設定.....28

BlackBerry Dynamics Launcher への仕事用アプリカタログの追加.....29

BlackBerry Dynamics アプリのアクセスキーの生成.....30

BlackBerry Dynamics アクセスキーの管理.....30

ユーザーへの BlackBerry Dynamics アプリロック解除キーの送信.....32

アプリインストールのランク付け.....33
アプリインストールランキングリストの編集.....33
アプリインストールランキングリストからのアプリの削除.....33

BlackBerry Dynamics アプリサービスの管理.....34

就業時間外での通知オフ.....36
サイレントプロファイルの作成.....36

商標などに関する情報.....37

BlackBerry Dynamics アプリの管理

組織で BlackBerry Dynamics アプリを使用する場合、BlackBerry Dynamics アプリのみに適用される接続設定やその他のオプションを設定する必要があります。追加のアプリ設定が必要になる場合があります。例えば、組織で BlackBerry Work を使用している場合、メールプロファイルを使用するのではなく、アプリを設定して、デバイスにメールを送信することになります。

個々の BlackBerry Dynamics アプリでサポートされる機能および設定の詳細については、アプリのマニュアルを参照してください。

通信設定や Kerberos を含む、BlackBerry Dynamics アプリをサポートするための BlackBerry UEM の設定の詳細については、「BlackBerry Dynamics アプリをサポートするように BlackBerry UEM を設定する」を参照してください。

組織で BlackBerry Dynamics アプリを使用するには、次のアクションを実行します。

手順	アクション
1	BlackBerry Dynamics の接続設定を確認し、必要に応じて変更します。
2	BlackBerry Dynamics プロファイルを作成するか、デフォルトの BlackBerry Dynamics プロファイルを更新します。
3	BlackBerry Dynamics アプリを BlackBerry UEM に追加します。
4	必要に応じて、BlackBerry Dynamics アプリの設定を変更します。
5	BlackBerry Dynamics Launcher への仕事用アプリカタログの追加.
6	BlackBerry Dynamics プロファイルおよび BlackBerry Dynamics 接続プロファイルをユーザーアカウントまたはユーザーグループに割り当てます。
7	BlackBerry Dynamics アプリをユーザーアカウントまたはユーザーグループに割り当てます。
8	UEM Client なしでデバイス上の BlackBerry Dynamics アプリをアクティブにするユーザーの場合は、アプリのアクセスキーを生成します。

BlackBerry Dynamics アプリのネットワーク接続の設定

BlackBerry Dynamics 接続プロファイルは、ネットワーク接続、インターネットドメイン、IP アドレス範囲、および BlackBerry Dynamics アプリが接続できるアプリサーバーを定義します。

BlackBerry UEM には、事前に設定済みの、デフォルト BlackBerry Dynamics 接続プロファイルがあります。BlackBerry Dynamics 接続プロファイルが、ユーザーアカウントまたはユーザーが属するユーザーグループに割り当てられていない場合、BlackBerry UEM はデフォルトの BlackBerry Dynamics 接続ポリシーをユーザーのデバイスに送信します。ユーザーがデバイスをアクティブ化したとき、ユーザーが割り当てられた BlackBerry Dynamics 接続プロファイルを更新したとき、または異なる BlackBerry Dynamics 接続プロファイルがユーザーアカウントかデバイスに割り当てられたときに、BlackBerry UEM は BlackBerry Dynamics 接続プロファイルをデバイスに自動的に送信します。

BlackBerry Dynamics 接続プロファイルの作成

1. メニューバーで［ポリシーとプロファイル］をクリックします。
2. ［ネットワークと接続］ > ［**BlackBerry Dynamics** の接続］をクリックします。
3. ＋ をクリックします。
4. プロファイルの名前と説明を入力します。
5. 以前にエクスポートした BlackBerry Dynamics 接続プロファイル設定を .csv ファイルに再利用したい場合は、をクリックして設定をインポートします。
6. プロファイル設定のために適切な値を設定します。各プロファイル設定の詳細については、「BlackBerry Dynamics 接続プロファイル設定」を参照してください。
7. BlackBerry Dynamics アプリのアプリサーバーを追加するには 「BlackBerry Dynamics 接続プロファイルへのアプリサーバーの追加」を参照してください。
8. ［保存］をクリックします。

終了したら： 必要に応じて、プロファイルをランク付けします。

BlackBerry Dynamics 接続プロファイル設定

BlackBerry Dynamics 接続プロファイルは、以下のデバイスタイプでサポートされています。

- iOS
- macOS
- Android
- Windows

BlackBerry Dynamics 接続プロファイル設定	説明
名前	BlackBerry Dynamics 接続プロファイルの名前を指定します。

BlackBerry Dynamics 接続プロファイル設定	説明
説明	BlackBerry Dynamics 接続プロファイルの説明を指定します。
インフラストラクチャ	
全トラフィックをルーティングする	すべての BlackBerry Dynamics アプリデータを BlackBerry Proxy 経由でルーティングするかどうかを指定します。詳細については、「BlackBerry Proxy を通じた BlackBerry Dynamics アプリデータのルーティング」を参照してください。このオプションは、プロファイル内の他の設定よりも優先されます。このオプションは、バージョン 6.0 より前の BlackBerry Dynamics SDK で開発されたアプリでのみサポートされます。 ［全トラフィックをルーティングする］を選択した場合、ルーティングする BlackBerry Proxy クラスターを指定することも、［拒否］を選択してすべての接続をブロックすることもできます。 この設定は、BlackBerry UEM Cloud には含まれません。
許可されたドメイン	組織がアクセスを制御するインターネットドメインのリスト。たとえば、`blackberry.com` は、blackberry.com ドメイン内のあらゆるサーバーへのアクセスを制御します。BlackBerry Dynamics アプリは、組織のファイアウォールを経由して、リストされているドメインおよびサブドメイン内のあらゆるサーバーに接続できます。 許可されたドメインのリストに新しいドメインを追加するには、＋ をクリックして、ドメインの設定を行います。リストからドメインを削除するには、削除するドメインの横の ✕ をクリックします。
ドメイン	アクセスを許可または拒否するインターネットドメインを指定します。例えば、`blackberry.com` では、blackberry.com ドメイン内のあらゆるサーバーにアクセスできます。BlackBerry Dynamics アプリは、組織のファイアウォールを経由して、リストされているドメインおよびサブドメイン内のあらゆるサーバーに接続できます。 BlackBerry Dynamics SDK バージョン 6.0 以降を実行している BlackBerry Dynamics アプリでは、［すべてをルーティング］オプションがデフォルトルートオプションに置き換えられています。BlackBerry Dynamics アプリがアプサーバーに接続する方法をより詳細に制御できます。詳細については、「BlackBerry Dynamics アプリデータのデフォルトのルートの設定」を参照してください。
BlackBerry Proxy クラスター	ドメインに到達するために使用する必要がある BlackBerry Proxy クラスターを指定するには、このオプションを選択します。詳細については、「BlackBerry Proxy を通じた BlackBerry Dynamics アプリデータのルーティング」を参照してください。
直接	このオプションを選択すると、BlackBerry Proxy を経由せずにトラフィックがアプリからドメインに直接ルーティングされます。このオプションは、BlackBerry Dynamics SDK 6.0 以降のバージョンで開発されたアプリでのみサポートされます。

BlackBerry Dynamics 接続プロファイル設定	説明
拒否	このオプションを選択すると、アプリがドメインに接続できなくなります。このオプションは、BlackBerry Dynamics SDK バージョン 6.0 以降で開発されたアプリでサポートされます。
プライマリ	ドメインへの接続にアプリが使用するプライマリルートとして使用する BlackBerry Proxy クラスターの名前をドロップダウンリストから選択します。
セカンダリ	プライマリクラスターがダウンしている場合、アプリがドメインへの接続に使用するバックアップルートとして使用する BlackBerry Proxy クラスターの名前をドロップダウンリストから選択します。
デフォルトドメイン	デフォルトで許可されているドメインのリスト（qa.blackberry.com など）。BlackBerry Dynamics アプリは、portal.sales.xyzcorp.com のような完全修飾名ではなく、portal のような修飾がないホスト名に接続しようとすることがあります。完全修飾名を形成するために、このリストのドメインは、修飾がないホスト名に追加されます。 デフォルトドメインのリストに新しいドメインを追加するには、＋をクリックして、ドメインの設定を行います。リストからドメインを削除するには、削除するドメインの横の ✕ をクリックします。
ドメイン	デフォルトドメインのリストに追加するドメインを指定します。
プライマリ	ドメインへの接続にアプリが使用するプライマリルートとして使用する BlackBerry Proxy クラスターの名前をドロップダウンリストから選択します。
セカンダリ	プライマリクラスターがダウンしている場合、アプリがドメインへの接続に使用するバックアップルートとして使用する BlackBerry Proxy クラスターの名前をドロップダウンリストから選択します。
その他のサーバー	BlackBerry Dynamics アプリが接続できる追加サーバーのリスト。BlackBerry Dynamics アプリの接続先が、ドメイン内のすべてのサーバーではなく、特定のサーバーに限られる場合は、このリストに目的のサーバーを追加します。 追加サーバーのリストに新しいサーバーを追加するには、＋をクリックして、サーバーの設定を行います。リストからサーバーを削除するには、削除するサーバーの横の ✕ をクリックします。
サーバー	BlackBerry Dynamics アプリが接続できるその他のサーバーの完全修飾ドメイン名を指定します。BlackBerry Dynamics アプリが、ドメイン内のすべてのサーバーではなく、特定のサーバーにのみ接続できるようにする場合は、［許可されたドメイン］リストを使用するのではなく、このリストに目的のサーバーを追加します。このセクションに記載されているサーバー、ルーティングタイプ、および BlackBerry Proxy クラスターは、［許可されたドメイン］セクションに記載されているエントリよりも優先されます。
ポート	サーバーが使用するポートを指定します。

BlackBerry Dynamics 接続プロファイル設定	説明
BlackBerry Proxy クラスター	ドメインに到達するために使用する必要がある BlackBerry Proxy クラスターを指定するには、このオプションを選択します。
直接	このオプションを選択すると、BlackBerry Proxy を経由せずにトラフィックがアプリからサーバーにルーティングされます。このオプションは、BlackBerry Dynamics SDK 6.0 以降のバージョンで開発されたアプリでのみサポートされます。
拒否	このオプションを選択すると、アプリがサーバーに接続できなくなります。このオプションは、BlackBerry Dynamics SDK バージョン 6.0 以降で開発されたアプリでサポートされます。
プライマリ	サーバーへの接続にアプリが使用するプライマリルートとして使用する BlackBerry Proxy クラスターの名前をドロップダウンリストから選択します。
セカンダリ	プライマリクラスターがダウンしている場合、アプリがドメインへの接続に使用するバックアップルートとして使用する BlackBerry Proxy クラスターの名前をドロップダウンリストから選択します。
IP アドレスの範囲	BlackBerry Dynamics アプリがホスト名ではなく IP アドレスを使用して接続要求を行ったときにアクセスできる IP アドレスの範囲のリスト。 新しい IP アドレスの範囲をリストに追加するには、＋ をクリックして、設定を行います。リストから IP アドレスの範囲を削除するには、削除する範囲の横の ✕ をクリックします。
範囲	BlackBerry Dynamics アプリがホスト名ではなく IP アドレスを使用して接続要求を行ったときにアクセスできる IP アドレスの範囲を指定します。アドレス範囲は、下限と上限のアドレス（例：192.168.2.0-192.168.2.255）または IPv4 CIDR 表記（例：192.168.2.0/24）で入力する必要があります。例： • 個別アドレス： 例：192.168.2.0-192.168.2.255 • サブネット全体： 例：192.168.2.0/24
BlackBerry Proxy クラスター	IP アドレスの範囲に到達するために使用する必要がある BlackBerry Proxy クラスターを指定するには、このオプションを選択します。
直接	このオプションを選択すると、BlackBerry Proxy を経由せずにトラフィックがアプリから IP アドレスの範囲に直接ルーティングされます。このオプションは、BlackBerry Dynamics SKD 6.0 以降のバージョンで開発されたアプリでのみサポートされています。

BlackBerry Dynamics 接続プロファイル設定	説明
拒否	このオプションを選択すると、アプリが IP アドレスの範囲に接続できなくなります。このオプションは、BlackBerry Dynamics SDK バージョン 6.0 以降で開発されたアプリでサポートされます。
プライマリ	IP アドレスの範囲への接続にアプリが使用するプライマリルートとして使用する BlackBerry Proxy クラスターの名前をドロップダウンリストから選択します。
セカンダリ	プライマリクラスターがダウンしている場合、アプリが IP アドレスの範囲への接続に使用するバックアップルートとして使用する BlackBerry Proxy クラスターの名前をドロップダウンリストから選択します。
アプリサーバー	
追加	アプリサーバーまたは Web サーバーからサービスを受けている 1 つ以上の BlackBerry Dynamics アプリがある場合、サーバーの名前とポート、通信に使用する BlackBerry Proxy クラスターの優先度を指定できます。また、アプリサーバーの優先度をプライマリ、セカンダリ、またはターシャリとしてクライアントアプリに設定することもできます。アプリサーバーまたは Web サーバーが提供するすべての BlackBerry Dynamics アプリは、指定した接続設定を使用できます。 環境に BlackBerry UEM Cloud および BEMS クラウドがあり、さらに BEMS テナントを作成するようにメール通知または BEMS-Docs を設定した場合、BEMS クラウドの URL、ポート番号、および優先度が［アプリサーバーのペイロード］セクションに自動的に追加されます。 詳細については、「BlackBerry Dynamics 接続プロファイルへのアプリサーバーの追加」を参照してください。

BlackBerry Dynamics 接続プロファイル設定のエクスポート

同じような設定で追加のプロファイルを作成する必要がある場合に、BlackBerry Dynamics 接続プロファイル設定を .csv ファイルにエクスポートできます。

1. メニューバーで［ポリシーとプロファイル］をクリックします。
2. ［ネットワークと接続］ > ［**BlackBerrry Dynamics** の接続］をクリックします。
3. エクスポートするプロファイルの名前をクリックします。
4. をクリックします。
5. 変更を保存せずにプロファイルを閉じるには、［キャンセル］をクリックします。

BlackBerry Dynamics アプリデータのデフォルトルートの設定

BlackBerry Dynamics SDK バージョン 6.0 以降を実行している BlackBerry Dynamics アプリの場合、BlackBerry Dynamics 接続プロファイルの［すべてをルーティング］オプションは［デフォルトのルート］オプションに

変更され、BlackBerry Dynamics アプリからアプリサーバーへの接続をより細かく制御できます。BlackBerry Dynamics SDK バージョン 6.0 以降を実行している BlackBerry Dynamics アプリは、アプリに適用されるルーティング設定を、次のような優先順位で使用します。

1. 接続プロファイルでアプリに対してアプリサーバーが指定されている場合、アプリはアプリサーバーに対して指定されたルーティングオプションを使用します。
2. ［その他のサーバー］テーブルに記載されているサーバーにアプリが接続できる場合、アプリはそのサーバーに指定されているルーティングオプションを使用します。
3. ［IP アドレスの範囲］テーブルに記載されている任意の IP アドレスにアプリが接続できる場合、アプリはそのサーバーに指定されているルーティングオプションを使用します。
4. ［許可されたドメイン］テーブルで指定された許可ドメインにアプリが接続できる場合、アプリは許可されたドメインに指定されたオプションを使用します。
5. アプリサーバーアドレスにドメイン情報が何も指定されていない場合、デフォルトドメインで指定された情報を使用して接続します。
6. 上記のルールが適用されない場合は、デフォルトのルールが使用されます。

メモ： バージョンが 6.0 より前の BlackBerry DynamicsSDK を実行しているアプリには、次のルールが適用されます。

- サーバーまたはその他のサーバーが［直接］ルーティングに設定され、［すべてルーティング］も有効になっている場合は、［すべてルーティング］設定が使用されます。
- サブドメインへの接続が［直接］ルーティングに設定され、［すべてルーティング］も有効になっている場合は、［すべてルーティング］設定が使用されます。

BlackBerry Proxy を通じた BlackBerry Dynamics アプリデータのルーティング

BlackBerry Dynamics 接続プロファイルでは、ユーザーの BlackBerry Dynamics アプリが BlackBerry Proxy を使用してファイアウォールからアクセスできるサーバーを指定できます。

BlackBerry Proxy を通じたトラフィックのルーティングには、次の利点があります。

- デバイス上の Web ブラウザーと BlackBerry Dynamics アプリは、BlackBerry Proxy が到達可能なファイアウォールの背後にあるどのサーバーにも接続できます。
- BlackBerry Dynamics アプリとリソース間のデータトラフィックを簡単に監視できます。

BlackBerry Dynamics SDK バージョン 6.0 以降で開発されたアプリの場合、データをルーティングする必要のある BlackBerry Proxy クラスターを指定できます。

オンプレミス環境に BlackBerry UEM がある場合は、BlackBerry Dynamics 6.0 より前のバージョンの SDK で開発されたアプリの場合は、［全トラフィックをルーティングする］オプションを選択して、ドメインまたはサブネットに関係なく、BlackBerry Proxy 経由ですべての BlackBerry Dynamics アプリデータをルーティングします。

BlackBerry Proxy 経由でデータをルーティングする場合、次を考慮する必要があります。

- インターネット上のサーバーへの接続の確立には時間がかかる場合があります。
- Web プロキシを使用して外部サイトへのアクセスを許可し、特定のサイトを制限するようにプロキシを設定している場合、［すべてのトラフィックをルーティング］オプションを選択するときに、BlackBerry Proxy でプロキシのプロパティを設定する必要もあります。そうしないと、アプリは外部サイトにアクセスできませ

ん。BlackBerry Proxy 設定の詳細については、「オンプレミスの設定関連の資料」または「クラウドの設定関連の資料」を参照してください。

- BlackBerry Access は、許可サイトを決定する PAC ファイルで設定できます。この場合、PAC ファイルによってプロキシ設定が決定されます。詳細については、『BlackBerry Access 管理ガイド』を参照してください。

BlackBerry UEM のアップグレード後に、BlackBerry Dynamics 接続プロファイルを作成または編集する際の考慮事項

BlackBerry Dynamics 接続プロファイルでは、ユーザーの BlackBerry Dynamics アプリが BlackBerry Proxy を使用してファイアウォールからアクセスできるサーバーを指定できます。

- 新しいプロファイルを作成すると、BlackBerry Dynamics アプリデータのデフォルトルートは［直接］に設定されます。
- アップグレード前に［全トラフィックをルーティングする］オプションを選択しなかった場合、デフォルトルートは［直接］に設定されます。
- アップグレード前に［全トラフィックをルーティングする］オプションを選択し、BlackBerry Proxy クラスターオプションを選択した場合、デフォルトのルートは設定した BlackBerry Proxy になります。
- アップグレード前に［全トラフィックをルーティングする］オプションを選択し、BlackBerry Proxy クラスターオプションを選択しなかった場合、デフォルトルートは［直接］に設定されます。
- アップグレード前に、［許可されたドメイン］、［デフォルトドメイン］、［その他のサーバー］、または［IP アドレスの範囲］テーブルのエントリにプロキシクラスターがない場合、デフォルトのルートは［直接］に設定されます。
- アップグレード前に、エントリにプロキシクラスターが存在していた場合は、そのプロキシクラスターが維持され、デフォルトのルートは設定した BlackBerry Proxy になります。

BlackBerry UEM のアップグレード後の、既存 BlackBerry Dynamics 接続プロファイルの編集

BlackBerry UEM 12.11 にアップグレードしたら、組織の BlackBerry Dynamics 接続プロファイルを更新し、利用可能になった新しい設定オプションのメリットを得られるようにしてください。編集が必要なプロファイルがあれば、その横に警告アイコンが表示されます。

1. ［ポリシーとプロファイル］ > ［ネットワークと接続］ > ［**BlackBerry Dynamics** の接続］の順に移動し、組織のプロファイル名をクリックします。
2. ［許可されたドメイン］テーブルで設定したドメイン名をクリックします。
3. 次のオプションのいずれかを選択します。
   - **BlackBerry Proxy** クラスター：このオプションを選択すると、BlackBerry Dynamics アプリデータは BlackBerry Proxy を経由します。
   - 直接：このオプションを選択すると、BlackBerry Dynamics アプリはアプリサーバーに直接接続されます。未指定のドメインに対して BlackBerry Dynamics NOC や BlackBerry Proxy を経由することはありません。
   - 拒否：このオプションを選択すると BlackBerry Dynamics アプリは未指定のドメインに接続できなくなります。

4. ［保存］をクリックします。
5. ［デフォルトドメイン］、［その他のサーバー］、［**IP** アドレスの範囲］の各テーブルで設定したドメイン、サーバー、または IP アドレス範囲に対して、手順 2〜4 を繰り返します。
6. ［保存］をクリックします。

BlackBerry Dynamics 接続プロファイルへのアプリサーバーの追加

アプリサーバーまたは Web サーバーからサービスを受けている BlackBerry Dynamics アプリがある場合に、サーバーの名前、通信に使用する BlackBerry Proxy クラスターの優先度を指定できます。

1. メニューバーで［ポリシーとプロファイル］をクリックします。
2. ［ネットワークと接続］ **>** ［**BlackBerrry Dynamics** の接続］をクリックします。
3. アプリサーバーを追加する BlackBerry Dynamics 接続プロファイルをクリックします。
4. をクリックします。
5. ［アプリサーバー］の下で［追加］をクリックします。
6. アプリサーバーを追加する BlackBerry Dynamics アプリを選択します。
7. ［保存］をクリックします。
8. アプリの表で をクリックします。
9. ［サーバー］フィールドで、アプリサーバーの FQDN を指定します。
10. ［ポート］フィールドで、サーバーアクセスに使用する BlackBerry Proxy クラスターのポートを指定します。
11. ［優先度］ドロップダウンリストで、ドメインへのアクセスに必要な BlackBerry Proxy クラスターの優先度を指定します。
12. ［プライマリ **BlackBerry Proxy** クラスター］ドロップダウンリストで、プライマリクラスターとして設定する BlackBerry Proxy クラスターの名前を指定します。
13. ［セカンダリ **BlackBerry Proxy** クラスター］ドロップダウンリストで、セカンダリクラスターとして設定する BlackBerry Proxy クラスターの名前を指定します。
14. ［保存］をクリックします。

ユーザーデバイスでの BlackBerry Dynamics の制御

BlackBerry Dynamics プロファイルはユーザーに対して BlackBerry Dynamics を有効にし、BlackBerry Dynamics アプリアクセス、データ保護、およびロギングの標準を設定します。

BlackBerry UEM には、既定の設定を含む、デフォルトの BlackBerry Dynamics プロファイルがあります。BlackBerry Dynamics プロファイルがユーザーアカウント、ユーザーが属するユーザーグループ、またはユーザーのデバイスが属するデバイスグループに割り当てられていない場合、BlackBerry UEM はデフォルトの BlackBerry Dynamics プロファイルをユーザーのデバイスに送信します。ユーザーがデバイスをアクティブ化した場合、割り当てられた BlackBerry Dynamics プロファイルを更新した場合、または異なる BlackBerry Dynamics プロファイルがユーザーアカウントかデバイスに割り当てられた場合に、BlackBerry UEM は自動的に BlackBerry Dynamics プロファイルをデバイスに送信します。

BlackBerry Dynamics プロファイルは、ユーザーアカウント、ユーザーグループ、またはデバイスグループに割り当てることができます。

BlackBerry Dynamics プロファイルの作成

1. メニューバーで［ポリシーとプロファイル］をクリックします。
2. ［ポリシー］ > ［**BlackBerrry Dynamics**］をクリックします。
3. ＋ をクリックします。
4. プロファイルの名前と説明を入力します。
5. プロファイル設定のために適切な値を設定します。各プロファイル設定の詳細については、「BlackBerry Dynamics プロファイル設定」を参照してください。
6. ［追加］をクリックします。

終了したら： 必要に応じて、プロファイルをランク付けします。

BlackBerry Dynamics プロファイル設定

BlackBerry Dynamics プロファイルは、以下のデバイスタイプでサポートされています。

- iOS
- macOS
- Android
- Windows

BlackBerry Dynamics プロファイル設定	説明
設定	
BlackBerry Dynamics アプリの使用時にデバイス管理を要求する	この設定では、BlackBerry Dynamics アプリを使用するために、デバイスを MDM でアクティベーションする必要があるかどうかを指定します。

BlackBerry Dynamics プロファイル設定	説明
BlackBerry Dynamics に登録する UEM クライアントを有効にする	デバイスで BlackBerry UEM Client を使用する場合、この設定では、BlackBerry Dynamics で BlackBerry Dynamics アプリのアクティベーションを管理するかどうか、デバイスで BlackBerry Dynamics アプリを使用できるかどうかを指定します。このオプションを選択しないと、BlackBerry Dynamics に対してデバイスが有効にならないため、BlackBerry Dynamics アプリがデバイスから削除される可能性があります。環境で BlackBerry Dynamics を使用する予定がない場合は、この設定を選択しないでください。
パスワード	
パスワードの有効期限	この設定では、BlackBerry Dynamics アプリのパスワードに有効期限を設定するかどうかを指定し、さらにパスワードの有効期間を日数で指定します。
以前のパスワードを許可しない	この設定では、以前のパスワードを使用できるかどうかを指定し、さらに BlackBerry Dynamics アプリに使用できない以前のパスワードの最大数を指定します。
パスワードの最小文字数	この設定では、BlackBerry Dynamics アプリのパスワードの最小長を指定します。
文字のオカレンスを許可する	この設定では、BlackBerry Dynamics アプリのパスワードで同じ文字を使用できる回数を指定します。
文字と数字の両方を要求する	この設定では、BlackBerry Dynamics アプリのパスワードに文字と数字の両方を含める必要があるかどうかを指定します。
大文字と小文字の両方を要求する	この設定では、BlackBerry Dynamics アプリのパスワードに大文字と小文字の両方を含める必要があるかどうかを指定します。
1 文字以上の特殊文字を要求する	この設定では、BlackBerry Dynamics アプリのパスワードに 1 文字以上の特殊文字を含める必要があるかどうかを指定します。
2 桁を超える連番を許可しない	この設定では、3 つ以上の連番（例：1、2、3）を BlackBerry Dynamics アプリのパスワードで使用できるかどうかを指定します。
1 日に複数回のパスワード変更を許可しない	この設定では、BlackBerry Dynamics アプリのパスワードを 24 時間以内に複数回変更できるかどうかを指定します。
個人情報を許可しない	この設定では、BlackBerry Dynamics アプリのパスワードに以下の個人情報を使用できるかどうかを指定します。 • Active Directory に記録されているユーザーの姓名（イニシャルを除く） • メールアドレスで @ 記号の前の指定する部分

BlackBerry Dynamics プロファイル設定	説明
生体認証を許可する	この設定では、iOS デバイスのアプリ切り替え機能で既にアプリが開いているときに、バイオメトリック入力を使用して BlackBerry Dynamics アプリをロック解除できるかどうかを指定します。次のオプションを許可できます。 • None • Touch ID を許可する • Face ID を許可する • Touch ID および Face ID を許可する
コールドスタートから Touch ID と Face ID を有効にする	この設定では、デバイスの再起動後、初めてアプリを起動する際に、選択されたバイオメトリック入力方式を使用して BlackBerry Dynamics アプリをロック解除できるかどうかを指定します。
パスワードの再入力を要求し、Touch ID と Face ID を無効にする	この設定では、一定の期間を指定します。この期間を過ぎると、BlackBerry Dynamics アプリのロックを解除し、Touch ID、Face ID、またはその両方を再び有効にする際に、パスワードの入力が必要になります。
Android の指紋認証を許可する	この設定では、Android の指紋認証を使用して BlackBerry Dynamics アプリをロック解除できるかどうかを指定します。
パスワードを要求しない	これらの設定では、パスワードの入力なしでユーザーが BlackBerry Dynamics アプリにアクセスできるかどうかを指定します。選択肢は次のとおりです。 • iOS • macOS • Android • Windows
ブロックされるパスワードのリスト	
ブロックされるパスワードのファイル（.txt）	この設定では、禁止されたパスワードのリストを指定します。以前にアップロードされた禁止パスワードのリストをダウンロードできます。このリストのパスワードは、次の要件を満たしている必要があります。各パスワードは、強制改行で区切る必要があります。UTF-8 の文字のみがサポートされます。パスワードは 14 文字以内にする必要があります。
ロック画面	
BlackBerry Dynamics アプリの起動時にパスワードを要求する	この設定では、BlackBerry Dynamics アプリを起動するたびにパスワードを要求するかどうかを指定します。 メモ： 認証委任機能を使用している場合は、このオプションを選択しないでください。
一定時間アクティビティがなかった場合にパスワードを要求する	この設定では、アクティビティがない状態が続いて、パスワードが要求されるようになるまでの時間を指定します。

BlackBerry Dynamics プロファイル設定	説明
無効なパスワードの入力に対応する	この設定では、パスワードを間違って入力できる回数を制限するかどうかを指定します。このルールを選択した場合は、ユーザーが間違ったパスワードを入力できる回数、および制限に達した後の操作を指定します。次の操作のいずれかを選択します。 • ユーザーをロックアウト • データを消去
ウェアラブル	
ウェアラブルを許可する	この設定では、ウェアラブルデバイスで BlackBerry Dynamics アプリを使用できるかどうかを指定します。このルールを選択した場合、ウェアラブルデバイスを切断するまでの経過時間を指定し、ウェアラブルを自動的に再接続できるかどうかを指定します。
アプリ認証委任	

BlackBerry Dynamics プロファイル設定	説明
	他の BlackBerry Dynamics アプリの代わりに認証委任として動作する BlackBerry Dynamics アプリを指定できるため、ユーザーはインストールする BlackBerry Dynamics アプリごとにパスワードを作成する必要はありません。認証委任を設定した後、BlackBerry Dynamics アプリを起動しようとすると、起動しようとしているアプリではなく、認証委任のパスワード画面がデバイスに表示されます。認証委任のパスワードを入力すると、BlackBerry Dynamics アプリを起動できます。 他のアプリの認証を委任にするために、任意のアプリを選択できます。ただし、最もシームレスな操作環境を実現するには、認証委任のプライマリアプリとして、最もよく使用しているアプリを選択することをお勧めします。 認証委任を 1 つだけ設定することを推奨します。これにより、不必要に複雑で望ましくない認証委任の切り替えが回避され、管理業務が簡略化されます。ユーザーが誤って認証委任を削除した場合は、再インストールする必要があります。たとえば、プライマリの認証委任が特定のプラットフォームに存在せず、代わりの委任が設定されている場合など、複数の認証委任が必要な場合は、次の推奨事項を参照して BlackBerry Dynamics アプリが問題なくインストールされてアクティベートされていることを確認してください。 • ユーザーは必ずプライマリの認証委任を最初にインストールし、すでにインストールされている代わりの認証委任アプリを使用してアクティブ化しないでください。 • ユーザーがすでに代わりの認証委任をインストールして使用しており、後でプライマリの認証委任をインストールした場合は、インストールされている既存の認証委任がロック解除状態であることを確認して、認証を正常に完了する必要があります。代替認証委任が強制的に閉じられている場合、ユーザーにはさまざまなエラーが表示されて、ブロックされる可能性があります。 • ユーザーは、プライマリの認証委任をインストールした後で、現在インストールされている認証委任を削除しないでください。現在その認証委任を使用しているアプリは、次回オンラインモードでアプリを起動したときに、自動的に新しい認証委任に切り替える必要があります。 • プライマリの認証委任が削除された場合、ユーザーはアクセスキーを使用して認証委任を再アクティブ化する必要があります。他のアプリで認証委任をアクティブ化しようとすると、さまざまなエラーが発生する可能性があります。 • ［認証を委任するアプリケーションが検出されない場合に自己認証を許可する］オプションが選択されている場合や、セカンダリまたはターシャリ認証委任として指定されているアプリがインストールされている場合でも、元の認証委任をインストールしてロック解除せずにアプリが認証委任を変更できるようにするフォールバックメカニズムはありません。 • 認証委任がデバイスにインストールされていない場合に、ユーザーによるアプリを認証を許可するには、［認証を委任するアプリケーションが検出されない場合に自己認証を許可する］オプションを選択します。
データ漏洩防止	

BlackBerry Dynamics プロファイル設定	説明
BlackBerry Dynamics 以外のアプリから BlackBerry Dynamics アプリへのデータコピーを許可しない	この設定では、BlackBerry Dynamics 以外のアプリから BlackBerry Dynamics アプリにデータをコピーできるかどうかを指定します。 メモ： Purebred などのアプリベースの PKI ソリューションを使用している場合は、このオプションは選択しないでください。
Android のディクテーションを許可しない	この設定では、Android デバイスユーザーが BlackBerry Dynamics アプリで音声ディクテーションを使用できるかどうかを指定します。
Android デバイスでは画面キャプチャを許可しない	この設定では、Android デバイスユーザーが BlackBerry Dynamics アプリで画面をキャプチャできるかどうかを指定します。
iOS デバイスでは画面の記録と共有を許可しない	この設定では、iOS デバイスユーザーが BlackBerry Dynamics アプリで画面の共有や記録を実行できるかどうかを指定します。 この設定は、iOS 11 以降を実行しているデバイスに適用されます。
iOS のディクテーションを許可しない	この設定では、iOS デバイスユーザーが BlackBerry Dynamics アプリで音声ディクテーションを使用できるかどうかを指定します。
iOS デバイスではカスタムキーボードを許可しない	この設定では、iOS デバイスユーザーが BlackBerry Dynamics アプリでカスタムキーボードを使用できるかどうかを指定します。
Android キーボード制限モードの有効化	この設定では、Android デバイスユーザーが BlackBerry Dynamics アプリでカスタムキーボードを使用できるかどうかを指定します。
FIPS を有効にする	この設定では、U.S.Federal Information Processing Standard 140-2（米国連邦情報処理規格 140-2）への準拠を強制するかどうかを指定します。 連邦情報処理規格（FIPS）は、コンピューティングおよびコンピューティングセキュリティに関する米国政府の規制です。FIPS 準拠を有効にすると、関連するアプリケーションに大きな影響が及びます。FIPS 準拠を有効にすると、FIPS に準拠して次の制約が強制されます。 • MD4 および MD5 は FIPS で禁止されているため、NTLM または NTLM2 で保護された Web ページおよびファイルへのアクセスはブロックされます。 • ラップされたアプリケーションはブロックされます。 • 十分な長さの Diffie-Hellman キーを使用するように設定されていないサーバーでの、一時キーとのセキュアソケットキー交換では、、BlackBerry Dynamics は、静的 RSA 暗号スイートを使用して再試行します。
証明書	
デバイス証明書ストアを有効にする	この設定では、BlackBerry Dynamics アプリがデバイス証明書ストアから証明書を取得できるかどうかを指定します。

BlackBerry Dynamics プロファイル設定	説明
詳細ログの記録	
BlackBerry Dynamics アプリで詳細ログの記録を有効にする	この設定では、BlackBerry Dynamics アプリからログファイルを生成し、アップロードできるかどうかを指定します。
BlackBerry Dynamics アプリでの詳細ログの記録をユーザーがオンにできないようにする	この設定では、BlackBerry Dynamics アプリから詳細なログファイルを生成して共有する機能を、ユーザーがオンにできるかどうかを指定します。
使用許諾契約書	
BlackBerry Dynamics アプリの使用許諾契約書のメッセージを有効にする	この設定では、ユーザーが確認する必要があるメッセージを BlackBerry Dynamics アプリ内で表示するかどうかを指定します。認証の委任が有効になっている場合、メッセージは認証プログラムアプリにのみ表示されます。このルールを選択した場合は、次のアクションを完了します。 • アプリをロック解除するたびにメッセージを表示するかどうかを選択します。毎回の表示を選択しない場合、ユーザーがアプリを起動した最初の時にのみメッセージが表示されます。 • ［メッセージ］フィールドで、表示するメッセージを作成します。 メモ： Android デバイスでは、最初の 4000 文字のみが表示されます。

アプリリストへの BlackBerry Dynamics アプリの追加

アプリリストに BlackBerry Dynamics アプリを追加する方法はアプリリストに任意のアプリを追加する方法と同じですが、BlackBerry Dynamics アプリを使用するには、追加の設定手順があります。アプリリストに鍵アイコン 付きで表示されているアプリは、BlackBerry Dynamics アプリです。

アプリリストへの一般の BlackBerry Dynamics アプリの追加

一般の BlackBerry Dynamics アプリを BlackBerry UEM のアプリリストに追加するには、BlackBerry Marketplace for Enterprise Software でアプリを使用する権限が組織に与えられている必要があります。BlackBerry Marketplace for Enterprise Software には、BlackBerry Dynamics アプリのカタログが含まれています。アプリを使用する権限が組織に与えられた後は、アプリリストを更新して直ちにアプリを BlackBerry UEM と同期させることも、BlackBerry UEM が自動的に同期するまで待機することもできます。BlackBerry UEM は 24 時間ごとに BlackBerry Dynamics アプリを同期します。

一般のアプリの追加に関する全般的な説明は、「アプリリストへの一般のアプリの追加」を参照してください。

メモ： ユーザーは、アプリケーションの割り当て元と同じ BlackBerry UEM 環境で、Dynamics アプリケーションをアクティベーションする必要があります。外部 BlackBerry Dynamics 環境から取得したアクセスキーでは、BlackBerry Dynamics アプリをアクティベーションできません。

1. https://marketplace.blackberry.com/apps でアカウントにログインします。
2. BlackBerry Marketplace for Enterprise Software でアプリを探し、トライアルをリクエストします。アプリが組織で利用可能になり、アプリと BlackBerry UEM が同期した後で、アプリがユーザーに割り当てられます。
3. アプリを購入するには、アプリ開発者から提供されている指示に従ってください。

一般の BlackBerry Dynamics アプリの権限の表示

1. Https://account.blackberry.com/pce/#/a/organization//servers にログインします。
2. ［権限］を展開します

内部 BlackBerry Dynamics アプリの権限の追加

内部 BlackBerry Dynamics アプリを追加するには、その権限を追加する必要があります。権限が追加された後、アプリソースファイルをアップロードできます。

内部アプリの追加に関する全般的な説明は、「アプリリストへの内部アプリの追加」を参照してください。

作業を始める前に：

- オンプレミス環境に BlackBerry UEM がある場合は、内部アプリを保存する共有ネットワークの場所を指定します。
- 内部 BlackBerry Dynamics アプリの権限を追加するには、Application Edition または Content Edition のライセンスが必要です。
- アプリが Android Enterprise デバイスにインストールされ、Google Play でアプリをプライベートアプリとして管理している場合は、Google Play にプライベートアプリを追加します。

1. メニューバーで［アプリ］をクリックします。
2. をクリックします。
3. ［内部 **BlackBerry Dynamics** アプリの権限］をクリックします。
4. ［名前］フィールドに、追加するアプリの名前を入力します。
5. ［**BlackBerry Dynamics** の権限 **ID**］フィールドに、追加するアプリの権限 ID を入力します。アプリの権限 ID がわからない場合は、アプリ開発者にお問い合わせください。権限 ID の詳細については、BlackBerry Dynamics SDK のマニュアルを参照してください。権限 ID は次の形式で指定する必要があります。
   - `com.yourcompany.appname` のような逆ドメイン名形式。
   - 次のいずれかで始めることはできません。
     - com.blackberry
     - com.good
     - com.rim
     - net.rim
   - 大文字を含めることはできません。
   - RFC 1123 の第 2.1 項で修正された RFC 1035 の第 2.3.1 項で定義されている <サブドメイン> 形式に従う必要があります。
6. ［**BlackBerry Dynamics** の権限バージョン］フィールドに、権限バージョンを入力します。アプリの権限バージョンがわからない場合は、アプリ開発者にお問い合わせください。権限バージョンは次の形式で指定する必要があります。
   - 100 や 1.2.3.4 のように、ピリオドで区切られた、1～4 つの数字のセグメント。
   - 数値セグメントで先頭にゼロを使用しないでください。たとえば、0100 や 01.02.03.04 は使用できません。
   - 数値セグメントの長さは、100.200.300.400 のように、1～3 つの文字にすることができます。
7. 必要に応じて、アプリの説明を追加します。
8. ［追加］をクリックします。

終了したら：

- アプリをプライベートアプリとして Google Play に追加していない限り、BlackBerry Dynamics アプリのソースファイルのアップロード。
- アプリが Android Enterprise デバイスにインストールされ、プライベートアプリとして Google Play に追加されない場合は、次のタスクのいずれかを実行します。
  - .apk ファイルを使用した Google Play での Android Enterprise デバイス内部アプリのホスト
  - .json ファイルを使用した Blackberry UEM での Android Enterprise デバイス内部アプリのホスト

一般の **BlackBerry Dynamics** アプリを内部アプリとして追加

BlackBerry Dynamics アプリのソースファイルを Google Play からアップロードすれば、ユーザーが Google Play にアクセスしなくてもアプリをインストールできるようになります。Google Play アプリを内部アプリとして追加すると、［送信先］および［制限されるバージョン］オプションはサポートされません。

Android Enterprise アクティベーションタイプでは、Google Play がアクセス不可で、かつユーザーに割り当てられているアクティベーションプロファイルで［Google Play アカウントをワークスペースに追加］オプションが選択されていない場合、アプリのソースファイルのみがデバイスに送信されます。

Android Enterprise アクティベーションタイプでは、Google Play がアクセス可能で、かつユーザーに割り当てられているアクティベーションプロファイルで［Google Playアカウントをワークスペースに追加］オプションが選択されている場合、Google Play に公開されているアプリのみがデバイスに送信されます。これは、アクティベーションタイプが Samsung Knox で、アクティベーションプロファイル内で［Samsung Knox Workspace デバイスの Google Playアプリ管理］が選択されている場合にも適用されます。

BlackBerry Dynamics アプリのソースファイルのアップロード

BlackBerry Dynamics アプリの権限が作成されたら、該当するデバイスプラットフォームのソースファイルがアップロード可能になります。

メモ：ユーザーは、アプリケーションの割り当て元と同じ BlackBerry UEM 環境で、動的アプリケーションをアクティブ化する必要があります。外部 BlackBerry Dynamics 環境から取得したアクセスキーで BlackBerry Dynamics アプリをアクティベーションすることはできません。

作業を始める前に：

- 内部 BlackBerry Dynamics アプリの権限の追加

1. メニューバーで［アプリ］をクリックします。
2. ソースファイルをアップロードするアプリをクリックします。
3. ソースファイルをアップロードするデバイスプラットフォームのタブをクリックします。
4. ［アプリソースファイル］セクションで、［追加］をクリックします。
5. ［参照］をクリックします。追加または更新するアプリへ移動します。
6. ［追加］をクリックします。
7. 必要に応じて、アプリの設定を更新します。詳細については、「BlackBerry Dynamics アプリの設定の管理」を参照してください。

BlackBerry Dynamics アプリの設定の管理

アプリの構成、サーバーの構成、およびアプリ設定を管理できます。

1. メニューバーで［アプリ］をクリックします。
2. 変更する BlackBerry Dynamics アプリをクリックします。
3. ［設定］ > ［**BlackBerry Dynamics**］タブで、次のタスクを実行します。

タスク	手順
アプリの BlackBerry Dynamics プロファイルを指定する	ユーザーに割り当てられている BlackBerry Dynamics プロファイルの代わりに特定の BlackBerry Dynamics プロファイルをアプリで使用する場合は、［**BlackBerry Dynamics** プロファイルを上書きする］ドロップダウンリストからプロファイルを選択します。
アプリのコンプライアンスプロファイルを指定する	ユーザーに割り当てられているコンプライアンスプロファイルではなく、特定のコンプライアンスプロファイルをアプリで使用する場合は、［コンプライアンスプロファイルを上書きする］ドロップダウンリストからプロファイルを選択します。
アプリの BlackBerry Dynamics 接続プロファイルを指定する	ユーザーに割り当てられている BlackBerry Dynamics 接続プロファイルの代わりに特定の BlackBerry Dynamics 接続プロファイルをアプリで使用する場合は、［**BlackBerry Dynamics** 接続プロファイルを上書きする］ドロップダウンリストからプロファイルを選択します。
内部アプリのアプリ設定を追加または変更する	**a.** ［アプリの設定］の横にある［テンプレートのアップロード］をクリックして、新しいアプリ設定テンプレートを追加します。 **b.** テンプレートの場所を参照します。 **c.** ［保存］をクリックします。 テンプレート作成の詳細については、『BlackBerry Dynamics SDK 開発ガイド』を参照してください。
一般アプリのアプリ設定を追加または変更する	**a.** ［アプリの設定］表で、＋をクリックします。 **b.** アプリ設定の名前を入力します。 **c.** 設定を編集します。 **d.** ［保存］をクリックします。 **e.** 必要に応じて、矢印を使用してアプリ設定を上下に移動し、優先度を変更します。 詳細については、「BlackBerry UEM Client アプリの設定」を参照してください。 BlackBerry Work、BlackBerry Notes、および BlackBerry Tasks アプリ設定の詳細については、BlackBerry Work、メモ、およびタスク管理関連の資料の「BlackBerry Work アプリ設定の指定」および「BlackBerry Notes および BlackBerry Tasks アプリ設定の指定」を参照してください。

タスク	手順
サーバー設定ペイロードを追加または変更して、アプリの設定に使用するキーと値を指定する	アプリにカスタムアプリポリシーがある場合は、カスタムポリシーがサーバー設定ペイロード領域に追加されます。 **a.** ［サーバー設定ペイロード］セクションで［追加］をクリックします。 **b.** テキストボックスに、設定ペイロードの XML または JSON コードを入力します。
BlackBerry Dynamics アプリで、ユーザー証明書、SCEP プロファイル、およびユーザー資格情報プロファイルを使用できるようにする	アプリでユーザー証明書を認証オプションとして使用できるかどうかを選択します。BlackBerry Dynamics アプリで証明書を使用する環境の設定方法の詳細については、「プロファイルを使用して証明書をデバイスおよびアプリに送信する」を参照してください。

4. 管理するデバイスプラットフォームのタブをクリックし、適切なオプションを設定します。

5. ［保存］をクリックします。

iOS および macOS ：BlackBerry Dynamics アプリの設定

次の設定の多くは iOS デバイスでのみサポートされ、［macOS ］タブには表示されません。

iOSおよび **macOS** の設定	説明
iOS または macOS のアプリパッケージ ID	この設定では、アプリのパッケージ ID を指定します。
アプリ名	この設定では、アプリリストに表示するアプリの名前を指定します。
ベンダー	この設定では、アプリのベンダーを指定します。
アプリの説明	この設定では、アプリの説明を指定します。
カテゴリ	アプリリストのアプリをカテゴリでフィルタリングしたり、ユーザーデバイスの仕事用アプリリストでアプリをカテゴリに分類したりするために、この設定ではカテゴリを指定します。カテゴリを選択するか、名前を入力して新しいカテゴリを作成できます。
スクリーンショット	この設定では、アプリのスクリーンショットを指定します。［追加］をクリックして画像を選択します。サポートされている画像タイプは、.jpg、.jpeg、.png、または .gif です。
サポートされているデバイスのフォームファクター	この設定では、アプリをインストールできるフォームファクターを指定します。たとえば、iPad では、そのアプリが Work Apps アプリで使用されず、iPhone デバイスでは使用されるようにすることができます。

iOSおよび macOS の設定	説明
BlackBerry UEM からデバイスが削除されたらアプリをデバイスから削除する	この設定では、BlackBerry UEM からデバイスが削除されたら、アプリもデバイスから削除するかどうかを指定します。 この設定は、必須としてマークされた種別のアプリにのみ適用され、「必須」アプリのデフォルトのインストールは、プロンプトが 1 回表示されるように設定されます（［一度確認する］）。
アプリに対する iCloud バックアップを無効化	この設定では、アプリを iCloud オンラインサービスにバックアップできるかどうかを指定します。 このオプションは、「必須」としてマークされた種別のアプリにのみ適用されます。
必須アプリのデフォルトのインストール	この設定では、プロンプトを表示して、必須アプリのインストールをユーザーに求めるかどうかを指定します。次のオプションのいずれかを選択します。 • 一度確認する：iOS デバイスにアプリをインストールするよう求めるプロンプトを 1 回表示します。ユーザーは、このプロンプトを無視しても、後から、BlackBerry UEM Client アプリの Work Apps 画面またはデバイスの Work Apps アイコンを使用してアプリをインストールできます。 • 確認しない：アプリのインストールに関して、ユーザーにはプロンプトが表示されません。 この設定は、アプリの種別が［必須］に設定されている場合にのみ適用されます。ユーザーまたはグループにアプリを割り当てる際に、アプリの種別を設定してください。
インストールされた個人用アプリを仕事用アプリに変換する	この設定は、アプリが既に iOS デバイスにインストールされている場合に、アプリを仕事用アプリに変換するかどうかを指定します。アプリをユーザーに割り当てた後で［変換］を選択すれば、そのアプリを仕事用アプリに変換して、BlackBerry UEM で管理できるようになります。
制限されるバージョン	この設定では、デバイスへのインストールをユーザーに禁じるアプリバージョンを指定します。複数のバージョンを追加する場合は、各バージョンをカンマで区切ります。

Android ：BlackBerry Dynamics アプリの設定

Android の設定	説明
Android アプリパッケージ ID	この設定では、アプリのパッケージ ID を指定します。
アプリ名	この設定では、アプリリストに表示するアプリの名前を指定します。
ベンダー	この設定では、アプリのベンダーを指定します。

Android の設定	説明
アプリの説明	この設定では、アプリの説明を指定します。
カテゴリ	アプリリストのアプリをカテゴリでフィルタリングしたり、ユーザーデバイスの仕事用アプリリストでアプリをカテゴリに分類したりするために、この設定ではカテゴリを指定します。カテゴリを選択するか、名前を入力して新しいカテゴリを作成できます。
送信先	この設定では、アプリをすべての Android デバイスに送信するか、Android Enterprise デバイスのみに送信するか、Samsung Knox Workspace デバイスのみに送信するかを指定します。
制限されるバージョン	この設定では、デバイスへのインストールをユーザーに禁じるアプリバージョンを指定します。複数のバージョンを追加する場合は、各バージョンをカンマで区切ります。

Windows ：BlackBerry Dynamics アプリの設定

Windows の設定	説明
Windows 10 （UWP） パッケージファミリー名	この設定では、Windows 10 アプリのパッケージファミリー名を指定します。
アプリ名	この設定では、アプリリストに表示するアプリの名前を指定します。
ベンダー	この設定では、アプリのベンダーを指定します。
アプリの説明	この設定では、アプリの説明を指定します。
カテゴリ	アプリリストのアプリをカテゴリでフィルタリングしたり、ユーザーデバイスの仕事用アプリリストでアプリをカテゴリに分類したりするために、この設定ではカテゴリを指定します。カテゴリを選択するか、名前を入力して新しいカテゴリを作成できます。
スクリーンショット	この設定では、アプリのスクリーンショットを指定します。［追加］をクリックして画像を選択します。サポートされている画像タイプは、.jpg、.jpeg、.png、または .gif です。
BlackBerry UEM からデバイスが削除されたらアプリをデバイスから削除する	この設定では、BlackBerry UEM からデバイスが削除されたら、アプリもデバイスから削除するかどうかを指定します。 この設定は、必須としてマークされた種別のアプリにのみ適用され、「必須」アプリのデフォルトのインストールは、プロンプトが 1 回表示されるように設定されます（［一度確認する］）。

Windows の設定	説明
制限されるバージョン	この設定では、デバイスへのインストールをユーザーに禁じるアプリバージョンを指定します。複数のバージョンを追加する場合は、各バージョンをカンマで区切ります。

BlackBerry UEM Client アプリの設定

オプション	説明
UEM Client でのバイパスロック解除の使用を許可する	このオプションを選択した場合、UEM Client では BlackBerry Dynamics のユーザー認証/ロック画面がバイパスされ、UEM Client アプリのロックを解除しなくても、ユーザーは UEM Client を起動できるようになります。BlackBerry 2FA を設定した場合、BlackBerry 2FA の承諾/辞退画面が表示され、ユーザーによる［承諾］のクリックが必要になります。これ以降、ユーザーのアプリまたはサービスへのログインは BlackBerry 2FA 経由になります。
アプリ名	アプリの名前を入力します。Purebred など、組織のアプリベース PKI ソリューションを使用して、BlackBerry Dynamics アプリの証明書を登録する場合、このオプションを選択します。アプリをデバイスにインストールし、PKI アプリで登録された証明書を使用することを BlackBerry Dynamics アプリに許可できます。このオプションは iOS デバイスでのみサポートされます。
UTI スキーム	組織のアプリベースの PKI ソリューションに対して、UTI スキームを指定します。例えば、Purebred アプリを使用している場合は、スキーム purebred.zip.all、purebred.zip.no_filter を使用します。

BlackBerry Dynamics Launcher への仕事用アプリカタログの追加

BlackBerry Dynamics で有効になっているデバイスの場合は、割り当てられた仕事用アプリのリストにユーザーが迅速にアクセスできるように、仕事用アプリカタログを BlackBerry Dynamics Launcher に追加できます。

メモ： 仕事用アプリのカタログを BlackBerry Dynamics Launcher に表示するには、デバイスに BlackBerry Access をインストールしてアクティブ化する必要があります。

1. メニューバーで［グループ］をクリックします。
2. ［すべてのユーザー］グループを選択します。
3. ［割り当てられたアプリ］セクションで、＋ をクリックします。
4. ［検索］フィールドで、［機能 **- BlackBerry App Store**］を検索します。
5. ［機能 **- BlackBerry App Store**］を選択します。
6. アプリの［種別］ドロップダウンリストで［必須］を選択します。
7. ［割り当て］をクリックします。

BlackBerry Dynamics アプリのアクセスキーの生成

BlackBerry Dynamics アプリには、デバイスでアクティブ化するためのアクセスキーが必要です。ユーザーがアプリをインストールすると、BlackBerry UEM Client は BlackBerry UEM からアクセスキーを自動的に要求できます。次の状況で BlackBerry Dynamics アプリをアクティブ化する場合、管理者またはユーザーは、アクセスキーを手動で生成して送信する必要があります。

- Samsung Knox Workspace デバイスの場合
- MDM が不要で、UEM Client がインストールされていない iOS および Android デバイスの場合
- BlackBerry UEM Client を必要としないデバイスで BlackBerry Dynamics アプリをアクティブ化するユーザーの場合

新規ユーザーの作成時、またはそれ以降、いつでもアクセスキーを生成できます。アクセスキーを受信するために、ユーザーが BlackBerry UEM でデバイスをアクティベーションする必要はありません。ユーザーは、アクセスキーを生成するために電子メールアドレスを必要としません。ユーザーはまた、BlackBerry UEM Self-Service でアクセスキーを生成することもできます。

1. メニューバーで、［ユーザー］ > ［管理されているデバイス］をクリックします。
2. ユーザーアカウントを検索します。
3. 検索結果で、ユーザーアカウントの名前をクリックします。
4. ［アクティベーションパスワードの設定］をクリックします。
5. ［アクティベーションオプション］ドロップダウンリストで、［**BlackBerry Dynamics** アクセスキー生成］を選択します。
6. ［生成するアクセスキーの数］ドロップダウンリストで、ユーザーのために作成するアクセスキーの数を選択します。
7. アクセスキーの有効期間を日数で選択します。
8. ［メールテンプレート］ドロップダウンリストで、使用するメールテンプレートを選択します。ユーザーにメールアドレスがない場合は、［なし］を選択します。詳細については、「メールテンプレート」を参照してください。
9. ［送信］をクリックします。

   ユーザーがメールアドレスを持っていない場合にアクセスキーを探すには、［アクティベーションの詳細］セクションの［**BlackBerry Dynamics** アクセスキー］で、生成したキーの数を表示しているリンクをクリックします。

BlackBerry Dynamics アクセスキーの管理

BlackBerry Dynamics アクセスキーを生成した後、生成したキーの数が［ユーザーの概要］画面の［アクティベーションの詳細］にリストされます。

作業を始める前に： BlackBerry Dynamics アプリのアクセスキーの生成.

1. メニューバーで、［ユーザー］ > ［管理されているデバイス］をクリックします。
2. ユーザーアカウントを検索します。
3. 検索結果で、ユーザーアカウントの名前をクリックします。

4. ［アクティベーションの詳細］セクションの［**BlackBerry Dynamics** アクセスキー］で、生成したキーの数を表示するリンクをクリックします。このセクションが表示されていない場合は、ユーザーのアクセスキーは生成されていません。
5. ［**BlackBerry Dynamics** アクセスキー］ダイアログボックスで、次のオプションのいずれかを選択します。

オプション	説明
	ユーザーにアクセスキーを再送信します。
×	アクセスキーを削除します。

6. ［保存］をクリックします。

ユーザーへの BlackBerry Dynamics アプリロック解除キーの送信

いずれかの BlackBerry Dynamics アプリがロックされている場合に、アプリロック解除キーをユーザーに送信できます。

メモ：ユーザーに送信するメールメッセージのテンプレートを編集することができます。

1. メニューバーで［ユーザー］をクリックします。
2. ユーザーアカウントを検索します。
3. 検索結果で、ユーザーアカウントの名前をクリックします。
4. ユーザーのデバイスをクリックします。
5. ［アプリのアクション］行の BlackBerry Dynamics セクションで、メールを受信するユーザーのアプリに対し［アプリをロック解除する］を選択します。
6. ［アプリをロック解除する］ページの［メールテンプレート］フィールドで、BlackBerry Dynamics ロック解除キーのメールを選択します。
7. ［送信］をクリックします。

アプリインストールのランク付け

アプリをデバイスに割り当てるときに、アプリにランク付けして、アプリをインストールする順序を制御できます。ランクを設定すると、認証委任アプリが最初にデバイスにプッシュされます。iOS アプリの場合、ランキングは一般のアプリおよび BlackBerry UEM でホストされているアプリに適用されます。Android アプリの場合、ランキングは BlackBerry UEM でホストされているアプリのみに適用されます。

1. メニューバーで、［アプリ］ > ［アプリのインストールランキング］をクリックします。
2. をクリックします。
3. をクリックします。
4. ランク付けするアプリの横にあるチェックボックスをオンにします。
5. ［追加］をクリックします。
6. ［アプリのインストールランキング］ページで、［ランク］列の をクリックし、デバイスにインストールする順序でアプリを配置します。
7. ［保存］をクリックします。

アプリインストールランキングリストの編集

組織のデバイスにあるインストール済みアプリを対象として、インストールシーケンスを編集できます。ランキングは iOS アプリにのみ適用されます。

1. メニューバーで、［アプリ］ > ［アプリのインストールランキング］をクリックします。
2. をクリックします。
3. ［ランク］列の をクリックして、デバイスにインストールする順番でアプリを配置します。
4. ［保存］をクリックします。

アプリインストールランキングリストからのアプリの削除

アプリインストールランキングリストからアプリを削除できます。ランキングは iOS アプリにのみ適用されます。

1. メニューバーで、［アプリ］ > ［アプリのインストールランキング］をクリックします。
2. をクリックします。
3. リストで、削除するアプリの横の をクリックします。
4. ［削除］をクリックします。
5. ［保存］をクリックします。

BlackBerry Dynamics アプリサービスの管理

アプリサービスは、モバイルベースまたはサーバーベースのアプリによって提供される共有機能です。アプリ開発者は BlackBerry Dynamics SDK を使用して、他の開発者が独自の BlackBerry Dynamics アプリで使用できるように、アプリの機能を公開できます。管理コンソールでは、組織のアプリサービスを登録したり、開発者からサービス定義を提供したりできます。組織の開発者は、登録済みのアプリサービスをレビューしたり、作成した BlackBerry Dynamics アプリで利用可能なサービス定義を活用したりできます。

選択した BlackBerry Dynamics アプリおよびパートナーアプリ用のアプリサービスも利用可能です。また、管理コンソールでは、関連付けられたサービス定義を表示できます。アプリサービス開発の詳細については、BlackBerry の開発者コミュニティにアクセスしてください。

作業を始める前に： 組織のアプリサービスを登録する場合は、アプリサービス ID、バージョン番号、およびサービス定義があることを確認してください。

1. 管理コンソールのメニューバーで、［設定］ > ［**BlackBerry Dynamics**］をクリックします。
2. ［アプリサービス］をクリックします。
3. 次のタスクを実行します。

タスク	手順
組織のアプリサービスを登録する	**a.** ＋ をクリックします。 **b.** ［サービスの種類］ドロップダウンリストで、次の操作のいずれかを実行します。 ・ アプリサービスがモバイルアプリで提供される場合は、［アプリケーション］をクリックします。 ・ アプリサービスがサーバーベースのアプリで提供される場合は、［サーバー］をクリックします。 **c.** ［**ID**］フィールドにアプリサービス ID を入力します。ID は、リバース DNS 表記（例えば、com.example.service.print）で、固有の文字列（すべて小文字）にする必要があります。 **d.** アプリサービスの名前と説明を入力します。 **e.** ［バージョン］フィールドにバージョンを入力します。バージョン番号には、数字のみを使用できます。1 つ以上のサブバージョン番号（ビルドバージョンなど）を追加する場合は、期間を使用してセグメントを分離します。各セグメントの先頭には 0 を使用できません（例えば、1.1.5 は有効で、1.1.05 は無効です）。 **f.** オプションで、バージョンの説明を入力します。 **g.** ［サービス定義］フィールドに、JSON 形式でサービス定義を入力します。 **h.** ［保存］をクリックします。

タスク	手順
アプリサービスを編集する	新しいバージョンの追加など、組織の登録済みアプリサービスを編集する場合は、次の手順を実行します。アプリサービスタイプまたは ID は変更できません。BlackBerry Dynamics アプリサービスやパートナーアプリサービスは編集できません。 **a.** 編集するアプリサービスを検索します。 **b.** アプリサービス名をクリックします。 **c.** 必要に応じてアプリサービスの詳細を編集します。新しいバージョンを追加するには、＋をクリックし、バージョン番号、説明、およびサービス定義を指定します。 メモ：アプリサービスのバージョンを削除しても、サービスを提供しているアプリ、またはサービスを使用しているアプリには影響がありません。この操作では、組織の開発者が参照できないように、管理コンソールからサービス定義が削除されるだけです。 **d.** ［保存］をクリックします。
アプリサービスを削除する	BlackBerry Dynamics アプリサービスやパートナーアプリサービスは削除できません。アプリサービスを管理コンソールから削除しても、サービスを提供しているアプリ、またはサービスを使用しているアプリには影響がありません。この操作では、組織の開発者が参照できないように、管理コンソールからサービス定義が削除されるだけです。 **a.** 削除するアプリサービスを検索します。 **b.** サービスの横にある ✕ をクリックします。 **c.** ［削除］をクリックします。

終了したら： 管理コンソールで、アプリがサービスを提供していると通知できるように、オプションで、アプリサービスのバージョンを監視対象アプリにバインドできます。詳細については、「BlackBerry Dynamics アプリの設定の管理」を参照してください。

就業時間外での通知オフ

BlackBerry Work for Android と BlackBerry Work for iOS では、［通知しない］プロファイルを使用して、就業時間外にデバイスの通知をブロックできます。この機能には、BEMS 2.8 以降が必要です。

サイレントプロファイルの作成

作業を始める前に：

- BEMS 2.8 以降がインストールされ、環境で設定されています。手順の詳細については、「BEMS インストールおよび設定ガイド」を参照してください。
- BlackBerry Work は、BlackBerry Dynamics 接続プロファイルに追加されます。BlackBerry Work 管理関連の資料の「BlackBerry Work 接続設定の指定」を参照してください。

1. メニューバーで［ポリシーとプロファイル］をクリックします。
2. ［保護］ > ［サイレント］をクリックします。
3. ＋ をクリックします。
4. プロファイルの名前と説明を入力します。
5. BlackBerry Work 通知がブロックされたときにデバイスに表示するメッセージを入力します。このフィールドを空白のままにすると、デフォルトのメッセージが表示されます。
6. 次の操作のいずれかを実行します。

タスク	手順
共通の仕事日および時間を指定する。	**a.** ［共通の仕事日および時間を選択する］オプションをクリックします。 **b.** ［開始］ドロップダウンリストで、仕事日が開始する時刻を指定します。 **c.** ［終了］ドロップダウンリストで、仕事日が終了する時刻を指定します。 **d.** ［仕事日］リストで、仕事日にあたる曜日を選択します。
特定の日のカスタムの仕事時間を指定する。	**a.** ［カスタムの仕事日および時間を選択する］オプションをクリックします。 **b.** 曜日を選択します。 **c.** ［開始］ドロップダウンリストで、仕事日が開始する時刻を指定します。 **d.** ［終了］ドロップダウンリストで、仕事日が終了する時刻を指定します。 **e.** 仕事日である曜日ごとに、手順 2～4 を繰り返します。

7. ［追加］をクリックします。

商標などに関する情報

©2020 BlackBerry Limited. BLACKBERRY、BBM、BES、EMBLEM Design、ATHOC、CYLANCE、SECUSMART などの商標（ただし、これらに限定されるとは限らない）は BlackBerry Limited、その子会社および関連会社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づいて使用され、当該の商標に対する独占権は明確に留保されています。その他すべての商標は各社の所有物です。

本書は、参照用として本書で取り上げるすべての文書（提供される文書または BlackBerry の Web サイトで参照可能な文書）を含めて「現状のまま」または「参照可能な形で」提供されるか、またはアクセスすることができ、BlackBerry Limited およびその関連会社（「BlackBerry」）はいかなる条件付け、承認、表明、または保証もしないものとし、BlackBerry は本書の誤記、技術的な誤りまたはその他の誤り、エラー、遺漏について何ら責任を負いません。BlackBerry の所有権、機密情報および/または企業秘密を保護するため、本書では一部の BlackBerry テクノロジの側面を一般化された用語で記述している場合があります。BlackBerry は、本書に含まれる情報を定期的に変更する権利を留保します。ただし、BlackBerry には、本書への変更、更新、拡張、または他の追加を適時ユーザーに提供する義務はないものとします。

本書は、第三者をソースとする情報、ハードウェアまたはソフトウェア、製品またはサービス（コンポーネントや、著作権保護されたコンテンツなど）、および/または第三者の Web サイト（これらをまとめて「サードパーティ製品およびサービス」という）への参照を含んでいる可能性があります。BlackBerry は、サードパーティ製品およびサービスの内容、正確性、著作権遵守、互換性、性能、信頼性、適法性、品格、リンク、他の側面などに限定することなく、サードパーティ製品およびサービスを一切管理することはなく、責任も負いません。本書においてサードパーティ製品およびサービスを参照することは、BlackBerry がサードパーティ製品およびサービスまたは第三者を保証することを意味するものではありません。

該当する司法管轄地域の適用法で明確に禁じられている場合を除き、本書で参照されているソフトウェア、ハードウェア、サービス、またはサードパーティ製品およびサービスについて、耐久性、特定の目的または使用に対する適合、商品性、適性品質、権利侵害の不存在、品質満足度、権原、または制定法、慣習法、取引過程、商慣習から生じる、本書またはその使用に関する、または性能または性能の不履行に関する条件付け、承認、表明、保証などに限定することなく、明示的または黙示的に、いかなる条件付け、承認、表明、または保証も除外されます。ユーザーは、国や地域によって異なる他の権利を有する場合もあります。一部の司法管轄地域では、黙示的な保証および条件の除外事項または限定事項は禁止されています。法律で認められている範囲で、本書に関連する黙示的な保証または条件は、上記に定めるように除外できないが限定できる場合、ユーザーが本書または該当する対象物を初めて入手してから 90 日間に限定されます。

該当する司法管轄地域の適用法で認められている最大限の範囲で、本書またはその使用に関連して、または本書で参照されているソフトウェア、ハードウェア、サービス、またはサードパーティ製品およびサービスの性能または性能の不履行に関連して、直接的、必然的、典型的、偶発的、間接的、特殊的、懲罰的、または加重的損害、金銭的損失による損害（利益または収益の損失、予想される貯蓄の未達成、事業の中断、ビジネス情報の消失、ビジネス機会の喪失、データの破損または消失、データの送受信の失敗、BlackBerry 製品またはサービスと併用したアプリケーションに関連する問題、ダウンタイムコスト、BlackBerry 製品またはサービスあるいはその一部の使用機会や通信サービスの使用機会の喪失、代替品コスト、保険料、設備費、保守費、資本コストなど）に限定することなく、損害を予想できたかどうかを問わず、BlackBerry が損害の可能性について勧告を受けていた場合を含め、いかなる場合においても、BlackBerry はいかなる損害の責任も負わないものとします。

該当する司法管轄地域の適用法で認められている最大限の範囲で、契約、不法行為、またはユーザーに対する過失責任または厳格責任について、BlackBerry は他のいかなる義務、責務、または責任も負わないものとします。

本書の限定事項、除外事項、および免責事項は、（A）訴訟原因、請求、またはユーザーによる行為（契約違反、過失、不法行為、厳格責任、その他の法理論など）の性質に関係なく、この契約の基本目的または本書に記載されている救済策の根本的違反または不履行を免れるため、（B）BlackBerry およびその関連会社、その後継

者、譲受人、代理業者、納入業者（通信事業者を含む）、認可された BlackBerry 販売業者（通信事業者を含む）およびその取締役、従業員、および請負業者に適用されます。

上記に定める限定事項および除外事項に加えて、いかなる場合においても、BlackBerry の取締役、従業員、代理業者、販売業者、納入業者、請負業者または BlackBerry の関連会社は、本書に起因または関連する責任を負わないものとします。

ユーザーは、サードパーティ製品およびサービスの加入、インストール、または使用前に、通信事業者がサードパーティ製品およびサービスのすべての機能をサポートすることに同意していることを確認する責任を負います。一部の通信事業者は、BlackBerry® Internet Service への加入によるインターネット閲覧機能を提供しない場合があります。サービスの利用、ローミング、サービスプラン、その他の機能については、通信事業者に問い合わせてください。BlackBerry 製品およびサービスにおけるサードパーティ製品およびサービスのインストールまたは使用には、第三者の権利を侵害または妨害しないように、特許、商標、著作権、または他のライセンスが必要になる場合があります。ユーザーは、サードパーティ製品およびサービスを使用するかどうかを決定し、使用するためにサードパーティライセンスが必要かどうかを確認する責任を負います。必要な場合、ユーザーはライセンスを取得する責任を負います。ユーザーは、必要なライセンスをすべて取得するまで、サードパーティ製品およびサービスをインストールまたは使用してはなりません。BlackBerry 製品およびサービスで提供されるサードパーティ製品およびサービスは、ユーザーの便宜のために「現状のまま」提供され、BlackBerry は明示的にも黙示的にもいかなる条件付け、承認、表明、または保証もしないものとし、BlackBerry はそれに関連するいかなる責任も負わないものとします。ユーザーによるサードパーティ製品およびサービスの使用は、ライセンスまたは BlackBerry との他の契約で明示的に対象になっている場合を除き、個別のライセンスおよび第三者との他の該当契約の条件に従うものとし、その制約を受けるものとします。

BlackBerry 製品またはサービスの使用条件は、個別のライセンスまたは BlackBerry との他の該当契約に定められています。本書の内容は、本書以外に BlackBerry 製品またはサービスの一部に対して BlackBerry が提供した文書による明示的な契約または保証を破棄するものではありません。

BlackBerry Enterprise Software には、特定のサードパーティ製ソフトウェアが組み込まれています。このソフトウェアに関連するライセンスおよび著作権情報は、http://worldwide.blackberry.com/legal/thirdpartysoftware.jsp でご確認いただけます。

BlackBerry Limited
2200 University Avenue East
Waterloo, Ontario
Canada N2K 0A7

BlackBerry UK Limited
Ground Floor, The Pearce Building, West Street,
Maidenhead, Berkshire SL6 1RL
United Kingdom

Published in Canada